

新宿連絡会

NEWS

vol.12 1999/8/31



定価：100円

新宿野宿労働者の生活・就労保障を求める連絡会議・発行

東京都台東区日本堤1-25-11 山谷労働者福祉会館気付

TEL: 03-3876-7073/090-3818-3450 E-mail: inaba@jca.apc.org

<http://www.jca.apc.org/nojukusha/shinjuku/>

カンパ送り先：郵便振替口座 00170-1-723682 「新宿連絡会」

野宿の仲間の手作り夏まつり 1999/8/8~8/15

第6回新宿夏まつりが8月8日(日)から15日(日)までの一週間、新宿中央公園で行なわれました。

今年は例年以上に「野宿の仲間による手作りのまつり」をめざして、6月から仲間が中心の実行委員会を中央公園で開いていきました。そしてそこで出たアイデアをもとに、手作りのおみこし、はっぴ、うちわなどを廃材などを利用して作っていきました。

夏まつりの期間も一週間に延長し、8日の「野宿者音楽祭」で幕をあげたあとも、連日(8/9~13)、中央公園ポケットパークを開放。カラオケや囲碁将棋、ゲーム、ビデオ上映などをおこなって、仲間の「憩いの場」「たまり場」を作ることができました。また、11日には池袋・中池袋公園での出張夏まつりをおこない、当地の仲間100人が集まって、カラオケと盆おどりを楽しみました。

14日(土)は午後まで雨に降られたものの、夜の追悼会には多くの仲間が参加し、この一年に亡くなった仲間の無念を心に刻みました。ちびっこ広場に会場を移しての15日の本祭には、各地から800人以上の仲間が集まり、かつて新宿にいて今は生活保護を受けたり、仕事をもって生活している仲間も久しぶりに顔を出して、お互い再会を喜びあいました。

本祭は、夕方になり、仲間による演劇の公演、仲間による踊りの披露、「ホームレス歌手」河上功さんの歌などで盛り上がり、最後は威勢のいいみこし担ぎと、新作「新宿音頭」も含めた盆踊りで、最高潮に達していきました。

一週間の夏まつり期間中、無料散髪で仲間の髪を刈り続けた仲間、泊まり込みで物資を管理し続けた仲間、仲間にもふるまう食事を作り続けた仲間、カラオケの受付係をつとめ続けた仲間・・・そのほかさまざまな形で支えてくれた多くの仲間の力で、夏まつりは盛況のうちを終えることができました。この仲間の力を財産にして、新宿連絡会もこれから秋、そして冬に向けてまたがんばっていきたくと

考えています。

第6回新宿夏まつりは、こんなことがありました。

8/8(日)まつり初日

<昼・各種コーナー企画>

野宿者マーケット「おかえりなさい本舗」(バッジなどオリジナルグッズ販売)、カラオケ、写真アート展、路上文芸誌「露宿」展、散髪、ゲーム(パン喰い競走など)、医療相談コーナー

<夜・野宿者音楽祭>

野宿者(&OB)の作詞・作曲による歌「新宿青い屋根」発表、河上功さん歌謡ショーなど

8/9(月)~13(金)ポケットパーク連日開放 各種コーナー企画

11(水)池袋出張夏まつり

12(木)新宿路上探検隊(交流会に変更)

13(金)納涼映画大会(雨のため中断)

8/14(土) 追悼会

8/15(日) 本祭

<昼・各種コーナー企画>

8日のものプラス英国人画家ジェフ・リードさん似顔絵など

手作りおみこし登場

<夜・ステージ>

野宿者らによる劇団・初公演「寅さん、夏の百鬼夜行」

河上功さんショー(好評につき再登場)

青屋宿さん踊り

生バンドつき盆おどり

オリジナル「新宿音頭」発表

好評に終わった夏まつりですが、残念ながら大幅な赤字が出てしまいました。(約14万円、現在まだ集計中) 事後カンパという形になってしまいますが、来年度以降に赤字を残さないためのご支援をよろしくお願いいたします。新宿連絡会の郵便振替口座(表紙参照)に「夏まつりカンパ」と明記の上、ご入金ください。

野宿の仲間による劇団 初公演



夏まつりで初公演「トラさん、夜の百鬼夜行」（寅さんとかぐや姫と悪代官を合わせたような？喜劇）を披露し、大好評だった劇団のメンバーにインタビューしました。

後藤さん「最初はどうなるかと思った。セリフは覚えられないしさ。自分の仕事（チラシ配布）もあったし。帰ってくるとグッタリしちゃって。練習は夜だからうまく出席できたけど、夜、台本読もうと思って、うち（テント）の中、暗いし。（当日は）思ったよりあがんなかった。セリフっていうのはアタマが出ればごまかせるから。終わったら声がかれてた。」

鈴木さん「あがっちゃったね。ホントはトラさんやりたかったんだけど、ヤマさんにゆ

ずって。（演劇は）姉が中学時代、演劇部において、金魚のフンみたいにくっついて歩いた。興味もあったし。（今後は）それ（夏まつり公演）をきっかけにがんばってみようと思う。今度は地々でできるような役がいいな。酒呑みとか。」

小野さん「練習は楽しかった。チームワークよかった。（本番は）セリフでも教えてやったりして、落ち着かせようと思って。（今後は）外へ出てって差別されるかもしれないけど、アピールするためにやってんだからかまわない。」

劇団メンバーは早くも秋以降の展開について話をしているそうです。今後も期待できます。

*写真提供（表紙も）：高松英昭氏

自立支援センター開設問題 ついに正念場に

自立支援センターの早期開設を求める全都野宿労働者の闘いは、今秋、正念場を迎えつつあります。

6月24日の「いつまで待たせる！自立支援センター！全都野宿労働者総決起集会」には、屋内集会では最高の380人の仲間が集まり、闘いの最終コーナーを回る決意を確認しました。

7月からは、自区内に多数の野宿者を抱えながら、傍観を決め込んできた各区への連続した追及行動が取り組まれました。池袋を抱える豊島区、東京駅・銀座・日比谷公園を抱える中央区と千代田区、隅田川河川敷のある墨田区、そして23区の調整役を担っている練馬区に仲間たちが連日押しかけ、大衆的な力で事業の実施に向けたスピードアップを迫っていきました。

そして7月16日には、一連の夏期行動も頂点として都庁への行動を闘い抜きました。200人の仲間が猛暑の中、3時間以上にわたり都庁前に陣をはって座り込み、都庁広場への突入デモで氣勢をあげて、代表団を送り込んでいきました。

その代表交渉において、都福祉局から「冬前には目処をつけたい」という言質をかちとり、今秋の事業開始に向けた展望をかちとっていったのです。

現在、都区は専門の作業部会での討議を重ね、自立支援事業開始に向けた大詰め作業を急いでいるところです。しかし、「98年度中の実施」という「公約」を破られ、「6月事業開始」という「見通し」もなし崩し的に延期された経験を持つ全都実、は、「もう次はない」という意気込みで、追及の手をゆるめ

ることはしません。東西各地の夏まつり（8/8山谷、8/14渋谷、8/11池袋、8/8-15新宿）で団結をさらに深めた後、全都実は秋の闘いに立ち上がります。

10月反失業東京大闘争へ！

10月、全都実、は全国の野宿の仲間、日雇全協各支部の仲間呼びかけ、東京で反失業大行動を行なうことを決定しました。自立支援センター開設問題のクライマックスを全国の仲間と共に闘い、この問題にとどめを差す、という決意です。

東京では96年1月、強制排除との闘いに釜ヶ崎をはじめとする全国の仲間が駆け付けたことがありました。それ以来となる大きな闘いを作りだしていくために、新宿連絡会はこの10月行動に向けて、秋の闘いの布陣を作っていきます。

ぜひ、多くの方々のご支援をよろしく願います。

***10月15日（金）**

自立支援事業開始への最後のトドメ！

これで決める！

全都野宿労働者対都デモ

正午：新宿柏木公園（新宿駅5分）集会、デモ

主催：全都野宿労働者統一行動実行委員会

***10月16日（土）**

全国各地で反失業を闘い仲間の団結をさらに強めよう！

反失業全国集会

午後1時～ 文京区民センター
（水道橋駅10分）

主催：10・16集会実行委員会

呼びかけ：全国日雇労働組合協議会
（日雇全協）

7、8月の医療相談

新宿連絡会医療班では、毎月第2日曜日、新宿中央公園ポケットパークでボランティアの医師による医療相談を行なっています。

7、8月の医療相談の結果は以下のとおりです。(8月は夏まつりコーナーの一つとして、炊き出しの前の午後4～6時に行ないました。通常は午後7～9時です。)

紹介状を書いてもらった人には翌日の福祉行動(新宿区福祉事務所での生活保護集団申請)への参加を呼びかけています。

7/11 医療相談

受診：37人

紹介状を書いた人：13人

8/8 医療相談

受診：36人

紹介状を書いた人：12人

また医療相談に並行してボランティアの鍼灸師による鍼灸治療も行なっており、こちらも好評です。毎回、4-6人が治療を受けています。

次回医療相談の予定は9/12(日)午後7時から新宿中央公園ポケットパークです。(雨天時は都庁第一庁舎わき橋の下)

路上文芸総合雑誌「露宿 ROJUKU」

創刊号(99年6月)、第2号(8月)、好評発売中!

路上の仲間が筆を取り表現する路上文芸総合雑誌「露宿」が新宿連絡会から発行されています。

創刊号、第2号ともB5判 30P

路上歌人・富士森氏の「創刊に寄せて」

新宿の孤老翁の「豆腐について」

中央公園の長老・松本氏の「寄せ書き」など、

心暖まり、心に突き刺さる名文が満載! 定価500円で好評発売中!

次ページの連絡先に部数、送付先を連絡下されば、即郵送いたします。

代金は一部500円+郵送料160円です。

また、年間購読会員も募集中です。年5000円で「露宿」「連絡会NEWS」など通信物を隔月でお送りしています。

「路上には個性がある。路上には人格がある。路上には人生がある。それを誰も認めず、野宿する人々が問題だと言うのであれば、我らは自ら言葉を取り戻すしかない。その言葉を発し続けるしかない。路上の文芸とは、その意味ではラディカルであり、挑発であり、悲痛な叫びである。言葉は自らが忘れ去られないための抵抗であり、自我の強力な表現である。言葉の大河を路上に私たちは洪水の如く湧きあがらせた。その最初の一滴を私たちはここに提供する。」(創刊の辞より)

新宿ホームレス奮戦記

-立ち去れど消え去らず-

笠井和明著、現代企画室刊、46版372ページ

写真（木暮茂夫撮影）多数

新宿連絡会の活動家、1・24強制排除事件「被告」の笠井和明が、新宿闘争初期の激動の二年間（94.2~96.1）を獄中で綴った記録。

定価2200円+税 全国の有名書店でお求めになれます。

下記へご連絡をいただければ、一冊2500円（送料込）で郵送いたします。

『新宿ホームレス奮戦記』 笠井和明著
新宿闘争心、都庁へのメ
イン通りに並ぶタンポール
ハウスをめぐる闘い、それを
排斥する東京都、生活者
ための闘いを続けるホーム
レスへの政府を糾弾。路上
生活者が生まれる背景、そ
の言ひ知れぬ苦闘、希望、
仲間と共に生活後、つとず
る姿勢、彼らと共闘する
運動家たち。生活者連
と輝く闘いの記録である。
(現代企画室、2000年)

読売新聞
8/8付
「読書」欄

【ご注文方法】

「露宿」「奮戦記」「提言」の別と部数、送付先住所を明記の上、専用FAX: 03-3378-8761 またはEメール: inaba@jca.apc.org までご連絡ください。

代金の送金は、発送時に同封する郵便振替口座の用紙を使って、受け取り後、最寄りの郵便局で手続をしていただく形になります。

大胆不敵！ 話題沸騰！

「路上からの提言」

- 「路上生活者問題」に関する私たちの見解と政策提言 -

野宿の当事者は何を求めているのか、あるべき「対策」の姿とは何か・・・
連絡会5年間の活動から生まれた「提言」！

代金（送料込み）：1~5冊の場合、900円×冊数

5冊以上の場合、800円×冊数+500円

ご注文は上記までご連絡ください。

活動日誌 99/6/25～8/29

- 6/25 (金) 全都実東京駅パトロール
 6/26 (土) 北部共闘争議連帯
 夏まつり準備寄り合い
 6/27 (日) 炊き出し
 新宿パトロール (699)
 6/28 (月) 福祉行動 (4、㍻入院1)
 6/30 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール (221)
 7/2 (金) 全都実中央区申し入れ
 全都実東京駅パトロール
 7/4 (日) 炊き出し
 新宿パトロール (763)
 7/5 (月) 福祉行動 (6)
 7/6 (火) 全都実豊島区・練馬区交渉
 7/7 (水) 全都実中央区・千代田区交渉
 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール (224)
 7/9 (金) 全都実東京駅パトロール
 7/10 (土) 組織犯罪対策法反対集会参加
 全国地域・寄せ場交流会参加
 7/11 (日) 炊き出し、医療相談
 新宿パトロール (665)
 7/12 (月) 福祉行動 (9、㍻入院1)
 7/14 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール (245)
 7/15 (木) 全都実墨田区交渉
 7/16 (金) 全都実都庁行動 (200)
 全都実東京駅パトロール
 7/18 (日) 炊き出し
 新宿パトロール (709)
 7/19 (月) 福祉行動 (6)
 7/21 (水) 新宿区街頭相談監視
 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール (232)
 7/23 (金) 戸山公園清掃監視
 柴法争議連帯
 全都実東京駅パトロール
 7/24 (土) 夏まつり準備作業
 7/25 (日) 炊き出し

- 新宿パトロール (705)
 7/26 (月) 福祉行動 (2)
 7/28 (水) 全都実千代田区・練馬区交渉
 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール (206)
 7/30 (金) 全都実東京駅パトロール
 7/31 (土) 夏まつり準備作業
 8/1 (日) 炊き出し
 新宿パトロール (713)
 8/2 (月) 福祉行動 (5)
 8/4 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール (196)
 8/7 (土) 夏まつり準備作業
 山谷夏まつり手伝い
 8/8 (日) 夏まつり初日、音楽祭、
 炊き出し、医療相談
 新宿パトロール (657)
 8/9 (月) 新宿区役所前情宣
 福祉行動 (9)
 8/11 (水) 高田馬場パトロール
 池袋出張夏まつり
 8/13 (金) 都庁前情宣、納涼映画会
 8/14 (土) 追悼会
 8/15 (日) 夏まつり本祭、パトロール休み
 8/16 (月) 福祉行動 (1)
 8/18 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(244)
 8/20 (金) 全都実東京駅パトロール
 8/22 (日) 炊き出し
 新宿パトロール (711)
 8/23 (月) 福祉行動 (3)
 8/25 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール
 8/27 (金) 全都実東京駅パトロール
 8/29 (日) 炊き出し、新宿パトロール

*パトロールの後の括弧内の数は、路上で出会った仲間の人数。行動の後の括弧内の数は行動参加者の人数です。

*毎週日曜夜6時半からの新宿中央公園での炊き出しでは、毎回700～800食の炊き込みご飯が出ています。仲間の数が増え、米代もかさんできております。ぜひ、カンパのご協力をお願いいたします。

野宿者の命を支える諸活動にカンパを！

新宿連絡会では通信や出版物などを通して全国の心ある皆様方にカンパ金を募っています。連絡会最大の出費は毎週150キロ近くを消費し600名近い仲間に食事を提供する共同炊事の費用です。また、これから寒くなるにつれ千枚単位で毛布の提供もしていかなければなりません。これら野宿者の命を支えるために衣食の必要最低限の提供は欠かせません。行政に自立支援センター設置や生活保護の適用拡大を要求する運動を続けながらも、全てをそれに任せるのではなく、民間の力でも野宿者を具体的に支える事が必要だからです。

そのためには資金が必要です。しかし財政事情は収入減が続き、他方で野宿者の増加と活動の広がりによって交通費などの活動支出が増え続けています。今期会計は赤字となり、現在借財での運営を余儀なくされています。財政事情に見合った運営を行なう程の余裕は路上にはありません。一人でも仲間を切り捨てないため、一人でも仲間の命を救うため力を割かなければならないのです。

皆様方にはカンパ要請ばかりで本当に心苦しいですが、引き続きのご協力をお願いいたします。また、カンパ網の拡大に是非とも協力をお願い致します。

「連絡会NEWS」、「路上からの提言」、路上文芸総合雑誌「露宿」など必要とあらばどこにでも送付しますし、必要とあらばどこにでも出向きますので、お知り合いの方など紹介下されば幸いです。

(新宿連絡会事務局一同)

<新宿連絡会 99年6月-7月期会計報告>

《収入》		《支出》	
郵便振替カンパ 47口	236,610	炊事関連費	366,074
「露宿」通信会員費12口	60,000	交通費	325,520
「露宿」売上	52,780	印刷代	61,437
「ダンボール村通信」売上	40,520	コピー・DPE代	6,460
「路上からの提言」売上	172,600	文具・図書費	3,386
個人・団体カンパ	45,900	発送費	55,860
(小計)	608,410	倉庫家賃・水道光熱費	101,639
前期繰越金	298,037	電話代	28,747
合計	906,447	薬医療関連費	5,170
		備品	4,801
《残高》	-246,919	寄せ場交流会参加費	7,000
		雑費	5,751
		池袋活動費	82,000
		全都実分担金	73,577
		(小計)	1,127,422
☆カンパ・通信購読会費送り先☆		貸付金	25,944
郵便振替口座 00170-1-723682		合計	1,153,366
「新宿連絡会」あて			